



大樹

令和6年9月30日
流山市立八木南小学校

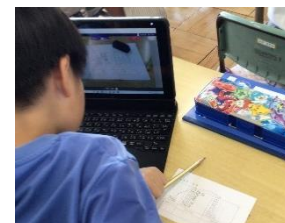


実りの秋

ほぼ毎日更新

朝晩が少し涼しくなり、日中も外で遊ぶことができる日が随分と増えました。落ち着いた廊下歩行を意識しながら、それでも嬉しそうに外遊びに向かう子どもたちは生き生きとしています。

先月、流山市教育委員会の計画訪問があり、本校の子どもたちの様子を見ていただきました。「子どもたちと先生方が楽しみながら授業をしている」と、とても心温まる励ましをいただきました。八木っ子たちの頑張る姿を見つけてもらい、良かったなと感じています。小中学生の読書量についての話題もありました。全国学校図書館協議会が毎年行っている学校図書調査によると、小学4～6年生、中学生の1か月の読書量は10年前から今年度まで増加傾向にあるとの結果があります。校内では、本校独自の取り組みであるブックリンピックについて、夏の取り組みも合わせて特に低学年の子どもたちが成果を見せにきています。これまでのブックリンピックをはじめとした読書活動の推進と、ご家庭でのご協力の成果だと感じています。読書の秋です。本校の学校図書館の一部スペースに、今までのレイアウトに加えて「味見読書を楽しもう」と、本をすぐ手に取りやすくなる場所を設けました。図書委員会も、新たな取り組みを考え実践するところです。毎週火曜日の「おはなしの花束」ボランティアの皆さんのご協力による「読みがたり」も2学期はすでに始まっています。明日からは流山市によるR1読書グランプリも開催され、読書のみならず、ポップを考える活動も行います。また、先日は「Lib Finder」を導入し、学校の本をタブレットから検索できるシステムを職員で研修しました。タブレットを家に持ち帰ったときにもゆっくりと検索することができます。少しずつ子どもたちに伝えていきます。これからも、子どもたちが様々なジャンルの本に親しんでいけるような取り組みを進めていきます。



子どもたちは、運動会に向けても一生懸命練習しています。スポーツの秋です。応援団の上級生の頼もしいリーダーシップのもと、朝から応援練習の元気な声が響いてきます。150周年記念の種目や給食も子どもたちが楽しみにしていることの一つでもあります。数週間前、地域の方に教えていただきながら稲が実り、刈り取った稲を4階のベランダに干している光景がありました。

実りの秋です。子どもたちは、様々な体験からどんなことを感じたのか、どんな成果や課題を見つけていくのか、成功や失敗からどんなことを学んでいくのか、この先も楽しみです。今学期も、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

流山市立八木南小学校 校長 山本亜由美